

本年度末までに 候補地選定結果

八戸地域広域事務組合
一般廃棄物処理施設

八戸地域広域市町村圏事務組合は27日、一般廃棄物処理施設の老朽化に伴う、新ゴミ処理施設整備に向けた検討委員会（委員長・田中哲八戸学院大学長補佐）の本年度初回会合を開き、建設候補地選定の間報告を行った。年度末までに選

定結果を取りまとめる。

新施設は、八戸清掃工場第1工場と第2工場、八戸リサイクルプラザの老朽化に伴って整備され、2037年に稼働予定。候補地選定は23年5月に始まり、24年3月からは公募も行っている。

八戸市内で行われた会合では現時点の選定状況を説明。公共施設や住宅などの有無や地形的規制といった条件に照らし合わせた上で絞り込みを進めていることが報告され、承認された。

今後は公募があった場所も含めて検討を進め、同委員会による現地調査なども行った上で審査を実施。年度末にも組合管理者である八戸市の熊谷雄一市長へ答申する見通し。

（金濱千優希）